

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01434秩父別町
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
01434秩父別町	②学校と地域の課題	01 通学路等の地域安全・地域防災	移住・定住施策の展開により、市街地区の児童・生徒が増加し、交通事故のリスクも増加している。	地域ボランティアによる市街地区での登下校時の見守りを実施する。	地域ボランティアにより市街地区において、開校日の登下校時に見守りを実施しており、児童・生徒の安全が保たれている。	見守り活動により、通学時の児童・生徒の安全が確保される。	通学時におけるヒヤリハットの報告件数	0	件	0	0	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が求められる。毎日の登下校時における安全確保が図られており、年1回のボランティア代表等による会議で情報交換することで、問題意識の確認ができています。防犯パトロール員が高齢化し、人員の減少が課題である。	https://www.town.chippubetsu.hokkaido.jp/category/detail.html?category=parenting&content=599
01434秩父別町	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	町外から通勤する教員がほとんどであり、特に小学校で地域との連携の意識の希薄さが見受けられる。	教育委員会が仲立ちとなり、小学校では地域で活動する団体による出前教室等を実施する。また、学校支援ボランティアを募集し小・中学校と共有する。	小学校においては、地域で活動する団体による陶芸教室や人形劇公演等が行われ、学校と地域の良好な連携を図ることができた。	児童の多様な体験の機会になるとともに、地域に開かれた学校づくりに繋がる。	地域で活動する団体による出前教室等の実施回数	3	件	3	2	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。小学校5年生を対象にした陶芸教室、小学1～3年生を対象にした人形劇公演を行い、学校教育だけではできない体験ができた。1月までの実績では目標を下回ったが、2月にも1回実施し、授業の中で地域の力を取り入れる活動ができた。	https://www.town.chippubetsu.hokkaido.jp/category/detail.html?category=parenting&content=599
01434秩父別町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	デジタル媒体の普及により、子ども同士で遊ぶ機会の減少が懸念される。	放課後子供教室の開設により、放課後の安全な遊び場を提供する。また、参加児童を対象にした体験活動を実施する。	放課後子供教室の開設により、安全な遊び場の提供し、異年齢間の交流を図ることができた。また、花壇植栽や町ALTIによる英語教室などの体験活動も実施した。	異年齢集団での遊びにより、児童の社会性が育成される。	放課後子供教室の延べ参加人数	2200	人	2300	2046	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。学年を超えた友好関係が築かれているとともに、運営者による季節イベント等により多様な体験活動が図られている。少子化による実児童数の減少もあり、参加人数は減少したが、異年齢集団の遊び場であり、また体験の場として地域と連携した事業を検討したい。	https://www.town.chippubetsu.hokkaido.jp/category/detail.html?category=parenting&content=599

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。